

ここにはりつけ

10月30日午後、人工哺育中だったアシカの赤ちゃんが亡くなりました。

アシカの赤ちゃんは6月26日に誕生し、明るい話題を提供してくれました。



しかし、生後6日目に母親が急死し、その後飼育員による人工哺育が続けられました。

当初、哺乳瓶からミルクを飲むことを拒んでいたものの、飼育員の試行錯誤の末、無事に哺乳瓶からの授乳に成功しました。

夏には泳ぎの訓練が行われ、徐々にアシカらしく成長していきました。

ところが、9月の末頃からミルクを飲んだり飲まなかったり、体調も一進一退を繰り返すようになりました。

獣医、飼育員が懸命の治療にあたりましたが、残念ながら衰弱により死亡しました。

これにより、当園でのアシカはタケル(オス19歳) 1頭の展示となります。



2009.7.15 生後約3週間の頃